## 科目シラバス様式例

〇領域名:	科目名:	
1.到達目標(行動目標)		
到達目標(行動目標)		別冊「ガイドライン」記
		当番号記入欄

2. 修了時の評価ポイント(評価内容・基準と方法)

- 3. 具体的な展開計画
- ①具体的な展開計画
- ②使用する教材
- ③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

## ・講義・演習の展開

時間	テーマ (展開)・	講義・解説のポイント・(中小項目)、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	ガイドライン
	大項目			該当番号

・ 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法

(別添様式::記載留意事項)

科目シラバス様式例

様式は例示であり、既存のフォームによって必要事項が記載されていれば様式は問わない(ただしA4であること)

本様式例を参考に記入してください(受講者に提示することも意図して、要領を作成した者でも可)

〇領域名: 科目名:

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

1. 到達目標(行動目標)

※一日ないしは1科目ごとに作成する。時限の区切りにそって具体的な展開案を記載する。

到達目標 (行動目標)

別冊「ガイドライン」該 当番号記入欄

ガイドラインの行動目標を踏まえ、さらにブレークダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2~3項目程度)

例)豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。

2. 修了時の評価ポイント (評価内容・基準と方法)

受講者の学習効果について、ガイドラインのどの評価ポイントに対応し、それをどのような評価方法で評価するか。ガイドラインの評価ポイントをさらにブレークダウンしたり、付け加えたりしてもよい( $2 \sim 3$ 項目程度)。具体的な設問として提示してもよい。

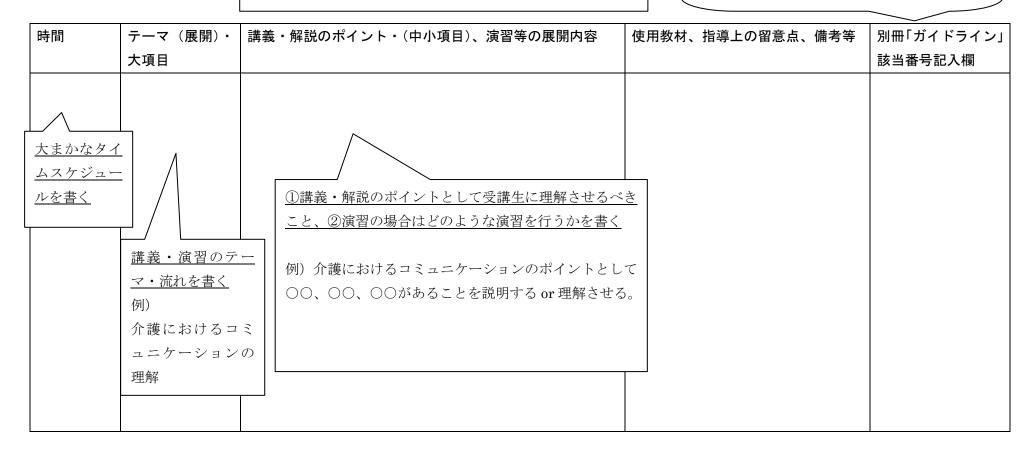
当該科目の具体的な展開計画(概要)を記入してください。

- 3. 具体的な展開計画
- ①具体的な展開計画.
- ②使用する教材
- ③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

4. 講義・演習の展開

下記の記載様式は一例であり、研修の特性にあわせて適宜工夫されてよい

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください



5. 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法